

2013 年度
環境活動レポート

2013 年 10 月 1 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質を正しく使用し管理する
5. 環境関連法規制等の遵守
6. グリーン購入の実施
7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

2013年9月1日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネームプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネームプレート・パネル・ラベルの製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約445百万円（2013年度実績）
従業員 32名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail kamiya@showa-np.com
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
管理責任者 管理部部長 神谷丈夫

環境目標とその実績

			2009年度 2008.9 ~ 2009.8	2013年度 2012.9 ~ 2013.8	2014年度 2013.9 ~ 2014.8	2015年度 2014.9 ~ 2015.8	2016年度 2015.9 ~ 2016.8
			(実績)	(実績) BM	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量 (kWh / 年)	125414	113077	111946.23 (1%)	110815.46 (2%)	109684.69 (3%)
	ガスの削減	総量 (ℓ / 年)	64.2	58.4	57.8 (1%)	57.2 (2%)	56.6 (3%)
	ガソリンの削減	総量 (ℓ / 年)	12076.71	11579.65	11463.85 (1%)	11348.05 (2%)	11232.26 (3%)
	CO2の削減 (上記の合計)	総量 (t / 年)	75.594	70.537	69.831(1%)	69.127(2%)	68.421(3%)
節水	総排水量削減	総量 (m ³ / 年)	823	304	300.96(1%)	297.92(2%)	294.88(3%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg / 年)	1202	585.6	579.8 (1%)	573.9 (2%)	568.0 (3%)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg / 年)	7692.4	3401.4	3367.4 (1%)	3333.3 (2%)	3299.4 (3%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg / 年)	568	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
グリーン調達の推進	事務用品等の購入			現状購入品については少量であるが、長期にかけて100%を目指す。			
製品への環境配慮	①販売時の包装の簡易化 (品証) ②負荷の少ない工法 (製造) ③環境に配慮した原材料の購入 (管理) ④顧客へのアピール (管理)			各部の目標に向け、活動に繋げる。 長期的に数値化出来る様活動する。			

- 1 今期は、総排水量と産業廃棄物以外が未達成だった為、2011年9月から2012年8月までの実績を基にBMを設定した。前年度数値がクリアした総排水量と産業廃棄物は、2013年度の実績を基にBMを設定した。CO2の削減率が年々厳しくなりつつあり、今後の活動内容が問われている。
- 2 水道は2ヶ月に1回の測定
この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理 (棚卸し等) 削減にむけて活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2012年9月～2013年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減 B.M に対し未達成 1% 目標 に対し +1.0%オーバー	前期実績を基に活動に対し微量の未達成となった。今期も前々期実績を基に BM 設定するが、今期も非常に厳しくなり活動が問われる時期と言える為、活動内容を見守る。
節水	総排水量の削減 B.M に対し達成 1% 目標 に対し -37%削減	目標数値に対し大幅な削減となった。今期は削減に対して、厳しいことが予想される。
b 一 廃棄物量の削減	一般廃棄物の削減 B.M に対し未達成 1% 目標 に対し +1.1%	持ち込みの容器 (主に食品類) の増加によるものと考えられる。
	産業廃棄物の削減 B.M に対し達成 1% 目標 に対し -38%削減	目標数値に対し大幅にクリア出来た。今期は削減に対して、厳しいことが予想される。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。 社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
グリーン調達 の推進	事務用品等の購入 少量ではあるが目標に対し活動した。	長期にかけて 100%を目指す。
製品への 環境配慮	①販売時の包装の簡易化(品証) ②負荷の少ない工法(製造) ③環境に配慮した原材料の購入(管理) ④顧客へのアピール(管理)	①各部内で検討と社外からの情報提供依頼 ①各部の目標に向け活動に繋げる。 ②長期的には数値化出来る様活動する。
<p>(総評) 目標に対し未達成な部分は散見するが、全ての項目において前年より数値は減少しており活動の成果は出ている。年々目標達成は難しくなるのは当然なことなので、今後はより計画的な取り組み、見直し、改善活動(PDCA 活動)が要求されると思われる。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 瀬田昭男</p>		

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等へのとおり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 神谷丈夫

2013.10.1